

○サービスは限度額の範囲内で
組み合わせせて利用できます

介護保険でのサービス費用の財源は、おおむね9割分を皆さんからいただく保険料と税金で賄うことになっています。このため、介護が必要なかたに、必要なサービスが平等に提供できるように、在宅サービスには、要介護度ごとに保険の対象となる1か月当たりのサービスの利用限度額（限度単位）が決められています。このため、利用者は、限度額の範囲内で必要なサービスを選び、組み合わせせて利用していただくこととなります。

給付費の状況から要介護度別の限度額（限度単位）に対する利用率をみると表・3のようになり、平均で

表・3 要介護度別限度額（単位）と利用率

区分	限度額（単位）	利用率
要支援	6,150	55%
要介護1	16,580	39%
要介護2	19,480	46%
要介護3	26,750	52%
要介護4	30,600	56%
要介護5	35,830	53%

介護保険でのサービス費用の財源は、おおむね9割分を皆さんからいただく保険料と税金で賄うことになっています。このため、介護が必要なかたに、必要なサービスが平等に提供できるように、在宅サービスには、要介護度ごとに保険の対象となる1か月当たりのサービスの利用限度額（限度単位）が決められています。このため、利用者は、限度額の範囲内で必要なサービスを選び、組み合わせせて利用していただくこととなります。

○サービスを利用したときの負担は原則として保険の対象となる費用の1割分

介護保険のサービスを利用したときは、原則として保険の対象となる費用の1割分を、利用者が自己負担することになります。また、利用限度額を超えたり、施設サービスを利用したときの食事代の標準負担額、理美容などの日常生活費などは、全額を利用者が自己負担することになります。表・2のサービス別利用状況のうち、在宅サービスを利用されているかた一人当たりの1か月の平均的な保険対象費用は、約9万6千364円です。ですから、利用者は

率は約33%とさらに低率となります。さまざまなサービスを利用限度額いっぱいまで利用されているかたもいらつしゃいますが、全体としてはまだ利用できる余地が残っている状況です。

このうちの9千637円を負担したことになります。

なお、自己負担額が著しく高額になつた場合には、申請によって、利用者負担の上限額を超えた部分が、高額介護サービス費として支給されます。

また、市でも独自に低所得者や心身に障害のあるかたへの助成などを行い、必要なサービスを希望するかたすべてが、費用のことを気にすることなくサービスを受けることができるように考えています。

○利用者の疑問・相談に応え
よりよい介護保険制度をめざします

在宅サービスは、介護保険制度がスタートしてから訪問介護や通所サービスを中心に利用者が増加してきています。また、短期入所サービ

スは、制度のスタート直後は一時的に利用が減少しましたが、制度の見直しなどにより現在は増加傾向となつています。

このようなサービスが利用できます

在宅サービス（サービス事業者が自宅での介護を支援するサービス）

- 1 訪問介護（ホームヘルプサービス）
- 訪問介護員（ホームヘルパー）による食事・入浴の介助や、調理・洗濯などの家事援助

- 2 訪問入浴介護浴槽車を派遣し、居室での入浴の介助
- 3 訪問看護看護婦による必要な診療補助など

- 4 訪問リハビリテーション理学療法士による理学・作業療法などの必要なりハビリテーション

- 5 居宅療養管理指導医師、歯科医師、薬剤師などによる療養上の管理および指導

- 6 通所介護（デイサービス）老人デイサービスセンター（多くは特別養護老人ホームなどに併設）での入浴・食事の提供（介護を含む）、そのほかの日常生活上の世話や、機能訓練
- 7 通所リハビリテーション（デイケア）介護老人保健施設や病院などでの心身機能の維持回復のための理学療法、作業療法など

- 8 福祉用具の貸与・福祉用具購入費の支給日常生活上必要な車いすや特殊ベッドなどの貸与および購入費の

介護の現場では



週2回の訪問介護を利用

松原トミさん（85歳）

腰の手術をしてから徐々に良くなってはいますが、まだ歩行が困難です。家族の仕事の関係もあってサービスを利用しています。ヘルパーさんの付き添いで30分程度、杖などを使って散歩をしていますが、家の中に閉じこもっているだけでは状態もよくならなかったと思います。利用してよかったです。ヘルパーさんには友達のようによくしてもらい、訪問日が楽しみです。あと1年経ったら一人で杖をついて歩けるようになりたいと思っています。

週2回の訪問介護とショートステイなどを利用

北田良平さん・よしさん夫妻（84歳）

昨年歩行器で転んでから、怖くて歩行器を使えなくなってしまいました。夫も介護が必要ですが、買い物程度はできるので、なんとか二人で生活しています。制度を利用して週2回炊事や掃除をしてもらっているので大助かりです。月に3日のショートステイも、たくさんの人と話したり食事ができてとても楽しみです。自己負担は少なくて良いのですが、もう少し利用可能日数が増えるなど、よりよくサービスが利用できればと思います。



狭山ささえあい福祉公社介護支援専門員

井島美由紀さん

仕事で大切なことは、技術的な面だけでなく利用されるかたとの意思の疎通を図ることだと思っています。サービスを利用されるかたは、費用の負担感もある反面、いろいろなサービスを上手に組み合わせるなど、より積極的に利用されるようになってきているようにも思います。しかし、まだ自宅への訪問などに抵抗があるかたもいらっしゃるので、遠慮せず自分の意思を事業者に伝え、もっと気軽に利用していただきたいと思っています。

市では、これからも介護が必要なかたが本人や家族の状態や希望に沿ったサービスを組み合わせ利用し、自立した生活を継続していただけるように、介護保険制度の活用をPRしていきます。この一つとして、制度の内容を詳しく記した、イラスト入りの読みやすいガイドブックも制作しました。「もっと上手に介護保険を利用したいので詳しく知りたい。」



のほか、公民館出張所、居宅介護支援事業者などを通じて行います。また、1割の自己負担を理由にサ

「これから利用したいのだけれど、内容がよく分からない。」などと感じているかたは、ぜひご利用ください。配布は介護保険課

サービスの利用を自ら抑制してしまつことのないよう、市独自の軽減制度なども引き続き実施していきます。サービスの利用方法や費用などについて不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ介護保険課へ内線15511554

支給

- 9 短期入所生活介護（ショートステイ）特別養護老人ホームなどでの短期間の入所
- 10 短期入所療養介護（ショートステイ）老人保健施設、介護療養型医療施設などでの必要な医療を伴った短期間の入所
- 11 痴呆対応型共同生活介護（グループホーム）痴呆状態にある複数の利用者が共同生活をしながらの日常生活上の世話や機能訓練を含んだ介護
- 12 特定施設入所者生活介護有料老人ホームなどの利用者が、当該施設で受ける入浴、食事などの介護、その他の日常生活上の世話や機能訓練
- 13 住宅改修費の支給手すりの取り付けや段差の解消などの小規模な住宅改修の費用の支給

- 施設サービス（利用者が施設に入所または入院して受けるサービス）
- 1 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）食事、入浴、排泄など日常生活の介助、機能訓練、健康管理など
- 2 介護老人保健施設医学的管理のもとでの介護、機能訓練その他必要な日常生活の介助
- 3 介護療養型医療施設療養上の管理、看護、医学的管理下における介護、機能訓練そのほか必要な医療